

日本語

ACC-DC/DCBOX以下のアクセサリを同梱しています。

- ACC-DC/DCBX リチャージャブルバッテリーパック(NP-BX1)(1)
- トラベルDCチャージャー(BC-DCX)(1)
- カーバッテリーアダプター(DCC-UD10)(1)
- マイクロUSBケーブル(1)
- 印刷物一式

危険 **安全のために**

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本をお読みください。

- 危険** この表示の注意事項を守らないと極めて危険な状況が起こり、その結果火災やけがや死亡にいたる危害が発生します。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと思わぬ危険な状況が起こり、その結果火災やけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをきたり周辺の家財や自動車に損害を与えたりすることがあります。

- 注意を促す記号**
 - 火災
 - 感電
 - 破裂

行為を禁止する記号

- 禁止
- 分解禁止
- 風呂・シャワー室での使用禁止

行為を指示する記号

- 指示

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電の事故により人身事故につながる恐れがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。お読みになったあとでは、いつもも見られるところに必ず保管してください。

道路交通法に従って安全運転する
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

定期的に点検する
1年に1度は、故障したまま使用していないか、また、マイクロUSB端子部とマイクロUSBケーブル端子、またはカーバッテリーアダプターとシガレットライターソケットの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、接続していないのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください。

万一、異常が起きたら
変な音・においがしたら、煙が出たら、異常に温度が上がったら、

NP-BX1
すべてにバッテリーをはずし、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- BC-DCX** ●本機からマイクロUSBケーブルを抜く ●ソニーの相談窓口に相談する
- DCC-UD10** ●安全な場所に車を止める ●シガレットライターソケットから本機を取りはずす ●ソニーサービス窓口へ修理を依頼する

バッテリーから液が漏れたら、
●すぐに火災より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火・破裂の恐れがあります。 ●目に入った場合は、必ずすぐに水道水などで多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療をうけてください。 ●液を口に入れたり、なめた場合、すぐに水道水で口を洗って医師に相談してください。 ●液が身体や衣服についたときは、水できよく洗い流してください。

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

- 火の中に入れてはいない。ショート(短絡)させたり、分解しない。電子レンジやオーブなどで加熱しない。コインやペーパン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管することがあります。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したままにする。詳細な充電のしくみと安全な充電方法については、充電する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れたバッテリーを充電したり、使用しない。

危険 **火災** **破裂**
下記の注意事項を守らないと**火災・破裂により死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でバッテリーを濡らさない。
- 乳幼児の手が届かない所に置き、口に入れないように注意する。一度飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 外装フィルムを剥がしたり、傷ついたりしない。フィルムの剥れや割れがある電極は、絶対に使用しない。

分解や改造をしない
内部の修理や改造はソニーの相談窓口にご相談ください。

指定以外のバッテリー(電池)を使わない
内部の修理や改造はソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない
●水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 ●万が一、トラベルDCチャージャー使用時に水や異物が入ったときは、チャージャーからマイクロUSBケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●カーバッテリーアダプター使用時に水や異物が入ったときは、すぐにUSB接続ケーブルを抜き、カーバッテリーアダプターをシガレットライターソケットから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●シガレットライターソケット内に異物が入っていると危険ですので注意してください。

内部に水や異物を入れない
●水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 ●万が一、トラベルDCチャージャー使用時に水や異物が入ったときは、チャージャーからマイクロUSBケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●カーバッテリーアダプター使用時に水や異物が入ったときは、すぐにUSB接続ケーブルを抜き、カーバッテリーアダプターをシガレットライターソケットから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●シガレットライターソケット内に異物が入っていると危険ですので注意してください。

カッターアダプター
Car battery adaptor

水のある場所に置かない
本機やバッテリーに水がかかったり、ぬれたり、風呂などで使ったりすると、火災や感電の原因となります。

火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したままにしない
危険防止の保護回路が壊れることがあります。

交通安全のために
●カーバッテリーアダプターとバッテリーチャージャーおよびデジタルカメラの接続や、シガレットライターソケットへの接続は、危険です。運転中には行わず、運転前に接続してください。 ●バッテリーチャージャーおよびデジタルカメラは運転の妨げにならない場所に置いてください。

エアバッグシステムの動作を妨げる取り付けをしない
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

運転操作や車体の可動部の動作の妨げはしない
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をするなど、事故や感電、火災の原因となります。

運動操作や車体の可動部の動作の妨げはしない
●ケーブルを巻き込まない。 ●マイクロUSBケーブルはまたと高価です。 ●ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できるように確認する。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

本機は対応機種以外では使わない
火災やけがの原因となることがあります。

カーバッテリーアダプターを座布団などでおった状態で使わない
熱がもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

定期的に点検する
1年に1度は、故障したまま使用していないか、また、マイクロUSB端子部とマイクロUSBケーブル端子、またはカーバッテリーアダプターとシガレットライターソケットの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、接続していないのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口にご相談ください。

万一、異常が起きたら
変な音・においがしたら、煙が出たら、異常に温度が上がったら、

NP-BX1
すべてにバッテリーをはずし、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- BC-DCX** ●本機からマイクロUSBケーブルを抜く ●ソニーの相談窓口に相談する
- DCC-UD10** ●安全な場所に車を止める ●シガレットライターソケットから本機を取りはずす ●ソニーサービス窓口へ修理を依頼する

バッテリーから液が漏れたら、
●すぐに火災より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火・破裂の恐れがあります。 ●目に入った場合は、必ずすぐに水道水などで多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療をうけてください。 ●液を口に入れたり、なめた場合、すぐに水道水で口を洗って医師に相談してください。 ●液が身体や衣服についたときは、水できよく洗い流してください。

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

マイクロUSBケーブル(同梱)
Micro USB cable (supplied)

- 火の中に入れてはいない。ショート(短絡)させたり、分解しない。電子レンジやオーブなどで加熱しない。コインやペーパン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管することがあります。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電したままにする。詳細な充電のしくみと安全な充電方法については、充電する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れたバッテリーを充電したり、使用しない。

危険 **火災** **破裂**
下記の注意事項を守らないと**火災・破裂により死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でバッテリーを濡らさない。
- 乳幼児の手が届かない所に置き、口に入れないように注意する。一度飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 外装フィルムを剥がしたり、傷ついたりしない。フィルムの剥れや割れがある電極は、絶対に使用しない。

分解や改造をしない
内部の修理や改造はソニーの相談窓口にご相談ください。

指定以外のバッテリー(電池)を使わない
内部の修理や改造はソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない
●水や異物が入ると火災や感電の原因となります。 ●万が一、トラベルDCチャージャー使用時に水や異物が入ったときは、チャージャーからマイクロUSBケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●カーバッテリーアダプター使用時に水や異物が入ったときは、すぐにUSB接続ケーブルを抜き、カーバッテリーアダプターをシガレットライターソケットから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。 ●シガレットライターソケット内に異物が入っていると危険ですので注意してください。

カッターアダプター
Car battery adaptor

●寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとにより異なります。

撮影・記録内容の補償について
カーバッテリーなどの不具合によって撮影や記録、再生ができなかった場合、撮影・記録内容の補償についてはご容赦ください。

充電できないときは
以下のような場合、一度目の充電でCHARGEランプが早い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーをバッテリーチャージャーからははずし、再度充電を行ってください。 ●長期間バッテリーを放置した場合 ●長期間バッテリーをカメラ本体に取り付けたまま放置した場合 ●お買い上げ直後 なお、二度目の充電でも早い点滅になる場合はバッテリーもしくはバッテリーチャージャーの異常が考えられますので、ご使用なさずソニーの相談窓口にお問い合わせください。 ●寒い気温:1秒間に3回程度の点滅

リチウムイオン電池
リチウムイオン電池は、リサイクルのしくみがあります。詳しくは、リサイクルのしくみをご覧ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人BRCホームページ http://www.brc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

充電について
●必ずソニー製純正バッテリーをお使いください。 ●専用バッテリー以外の充電には使わないでください。 ●バッテリーはしっかりと取り付けてください。

充電するときの温度
室温で0℃～40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を十分に発揮するためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。10℃～30℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

置いてはいけない場所
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因となります。

- 異常に高温になる場所 ●直射日光の当たる場所や、熱源の近くには置かないでください。炎天下や夏場の陽ざかりの自動車内は特に高温になりやすく、故障の原因となります。
- 激しい振動のある場所 ●強力な磁気や放射線のある場所 ●砂地、砂浜などの砂ほこりが起る場所などでは、砂がからまないようにしてください。故障の原因となります。

使用について
本機の型名や動作電圧などを表示したラベルは、製品の底面にあります。

- 充電するときには、バッテリーを本機にしっかりと取り付けてください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAVラジオなどの機器が壊れるのを防ぐために、充電しながらの動作は避け、充電が完了したら電源を切ってください。
- マイクロUSBケーブルは運転操作や可動部の妨げにならないように設置してください。
- また直線、故障の原因となりますので強く引っ張らないでください。

お手入れについて
●汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

エンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

●アルกอฮอล์、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質することがあります。

●化学そうざんをご使用の際は、その注意事項に従ってください。

●殺虫剤のような揮発性のものをかけたら、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質することがあります。

主な仕様

DCC-UD10
本機を同梱のマイクロUSBケーブルでバッテリーチャージャー(トラベルDCチャージャー(BC-DCXなど))に接続すると、シガレットライターソケットからバッテリーを充電することができます。また、本機を同梱のマイクロUSBケーブルでデジタルカメラに接続すると、シガレットライターソケットからデジタルカメラに給電しながら撮影ができます。

使用した
充電は、必ず車のエンジンがかかった状態で行ってください。エンジンを切ったままでも使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。

注意
●本機を設置するときは、アクセサリーやシフトレバーを誤操作しないよう周囲の安全に配慮してから行ってください。 ●運転中の操作は危険なので、接続や充電に必要な操作は、必ず運転する前に、停車状態で行ってください。

充電するときの温度
室温で0℃～40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を十分に発揮するためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。10℃～30℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

置いてはいけない場所
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因となります。

- 異常に高温になる場所 ●直射日光の当たる場所や、熱源の近くには置かないでください。炎天下や夏場の陽ざかりの自動車内は特に高温になりやすく、故障の原因となります。
- 激しい振動のある場所 ●強力な磁気や放射線のある場所 ●砂地、砂浜などの砂ほこりが起る場所などでは、砂がからまないようにしてください。故障の原因となります。

使用について
本機の型名や動作電圧などを表示したラベルは、製品の底面にあります。

- 充電するときには、バッテリーを本機にしっかりと取り付けてください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAVラジオなどの機器が壊れるのを防ぐために、充電しながらの動作は避け、充電が完了したら電源を切ってください。
- マイクロUSBケーブルは運転操作や可動部の妨げにならないように設置してください。
- また直線、故障の原因となりますので強く引っ張らないでください。

お手入れについて
●汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソケットの電源が切れない場合があります。エンジンを切ったままでも使用する。車内のバッテリーを消耗させてしまいますので、エンジンをつけた際には、必ず本機をシガレットライターソケットから抜いておいてください。

●アルกอฮอล์、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質することがあります。

●化学そうざんをご使用の際は、その注意事項に従ってください。

●殺虫剤のような揮発性のものをかけたら、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質することがあります。

主な仕様

DCC-UD10
本機を同梱のマイクロUSBケーブルでバッテリーチャージャー(トラベルDCチャージャー(BC-DCXなど))に接続すると、シガレットライターソケットからバッテリーを充電することができます。また、本機を同梱のマイクロUSBケーブルでデジタルカメラに接続すると、シガレットライターソケットからデジタルカメラに給電しながら撮影ができます。

使用した
充電は、必ず車のエンジンがかかった状態で行ってください。エンジンを切ったままでも使用すると、車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。

注意
●本機を設置するときは、アクセサリーやシフトレバーを誤操作しないよう周囲の安全に配慮してから行ってください。 ●運転中の操作は危険なので、接続や充電に必要な操作は、必ず運転する前に、停車状態で行ってください。

充電するときの温度
室温で0℃～40℃の範囲で充電できますが、電池の性能を十分に発揮するためには、10℃～30℃での充電をおすすめします。10℃～30℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

置いてはいけない場所
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因となります。

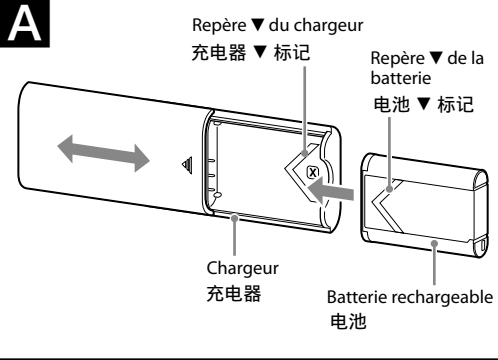
- 異常に高温になる場所 ●直射日光の当たる場所や、熱源の近くには置かないでください。炎天下や夏場の陽ざかりの自動車内は特に高温になりやすく、故障の原因となります。
- 激しい振動のある場所 ●強力な磁気や放射線のある場所 ●砂地、砂浜などの砂ほこりが起る場所などでは、砂がからまないようにしてください。故障の原因となります。

使用について
本機の型名や動作電圧などを表示したラベルは、製品の底面にあります。

- 充電するときには、バッテリーを本機にしっかりと取り付けてください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAVラジオなどの機器が壊れるのを防ぐために、充電しながらの動作は避け、充電が完了したら電源を切ってください。
- マイクロUSBケーブルは運転操作や可動部の妨げにならないように設置してください。
- また直線、故障の原因となりますので強く引っ張らないでください。

お手入れについて
●汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。

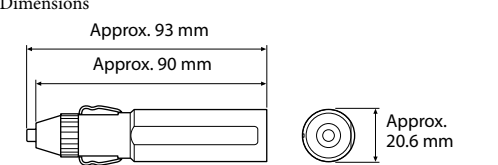
車のエンジンをつけたときは
エンジンを切ってもシガレットライターソ



- Notes**
- Use of a higher amperage fuse may cause serious damage or fire.
- Do not use a piece of wire instead of a fuse.
- If the replaced fuse blows again, consult your dealer.

Specifications

Input voltage	DC 12 V/24 V (only for negative ⚡ grounded cars)
Rated output voltage	DC 5.0 V
Rated output current	1,500 mA
Dimensions	



Design and specifications are subject to change without notice.

Français

LACC-DCBX est livré avec les accessoires suivants :

- ACC-DCBX**
- Batterie rechargeable (NP-BX1) (1)
- Chargeur CC de voyage (BC-DCX) (1)
- Adaptateur pour batterie de voiture (DCC-UD10) (1)
- Câble micro-USB (1)
- Jeu de documents imprimés

AVERTISSEMENT

Pour réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, 1) n'exposez l'appareil à la pluie ou à l'humidité; 2) ne placez pas d'objets remplis de liquides (vases, etc.) sur l'appareil.

N'exposez pas les piles à une chaleur excessive, notamment aux rayons directs du soleil, à une flamme, etc.

Note

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des réglementations FCC. Son fonctionnement est soumis à ces deux conditions : (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, incluant celles qui pourraient compromettre son fonctionnement.

CAN ICES-3 B/NMB-3 B

AVIS À LA CLIENTÈLE AUX ÉTATS-UNIS

AVERTISSEMENT

Par la présente, vous êtes avisé du fait que tout changement ou toute modification ne faisant pas l'objet d'une autorisation expressé dans le présent manuel pourrait annuler votre droit d'utiliser l'appareil.

Note

L'appareil a été testé et est conforme aux exigences d'un appareil numérique de Classe B, conformément à la Partie 15 de la réglementation de la FCC.

Ces critères sont conçus pour fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans un environnement résidentiel. L'appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radio; s'il n'est pas installé et utilisé conformément aux instructions, il pourrait provoquer des interférences nuisibles aux communications radio. Cependant, il n'est pas possible de garantir que des interférences ne seront pas provoquées dans certaines conditions particulières. Si l'appareil devait provoquer des interférences nuisibles à la réception radio ou à la télévision, ce qui peut être démontré en allumant et éteignant l'appareil, il est recommandé à l'utilisateur d'essayer de corriger cette situation par l'une ou l'autre des mesures suivantes :

- Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
- Augmenter la distance entre l'appareil et le récepteur.
- Brancher l'appareil dans une prise ou sur un circuit différent de celui sur lequel le récepteur est branché.
- Consulter le détaillant ou un technicien expérimenté en radio/ téléviseurs.

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des réglementations FCC. Son fonctionnement est soumis à ces deux conditions : (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, incluant celles qui pourraient compromettre son fonctionnement.

Le câble USB blindé doit être utilisé avec l'appareil pour que celui-ci soit conforme aux critères régissant les appareils numériques, conformément à la sous-partie B de la Partie 15 de la réglementation de la FCC.

NP-BX1

Spécifications

Tension de sortie maximale : CC 4.2 V / Tension de sortie nominale : CC 3.6 V / Capacité : 4,5 Wh (1 240 mAh) / Température de fonctionnement : 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F) / Dimensions (Environ) : 29,9 mm × 9,2 mm × 42,7 mm (l/h/p) (1 3/16 po. × 3/8 po. × 1 11/16 po.) / Poids : Environ 25 g (0,9 oz)

BC-DCX

Merci pour l'achat de ce chargeur Sony.

Avant d'utiliser ce chargeur, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour toute référence future.

Aide-mémoire

Les numéros de modèle et de série se situent sous l'appareil. Prendre en note le numéro de série dans l'espace prévu ci-dessous. Se reporter à ces numéros lors des communications avec le détaillant Sony au sujet de ce produit.

Modèle no BC-DCX No de série

Les batteries pouvant être rechargées pour ce produit sont les suivantes

Marque	Sony
Type de batterie	NP-BX1
Valeur nominale	CC 3,6 V
	4,5 Wh (1 240 mAh)

Remarques concernant l'emploi

Cet accessoire n'est pas étanché à la poussière, aux éclaboussures d'eau ou à l'eau.

Garantie concernant les enregistrements

L'utilisateur ne pourra pas être dédommagé pour une absence d'enregistrement ou de lecture due à une détérioration de la batterie, du chargeur, ou autre.

Où ne pas poser cet accessoire

Ne posez pas cet accessoire aux endroits suivants, ni pour la charge ni pour l'entreposage. Ceci peut entraîner une panne.

- À la lumière directe du soleil ou à proximité d'un appareil de chauffage, car cet accessoire peut se déformer ou tomber en panne.
- À un endroit exposé à des vibrations excessives
- À un endroit exposé à un électromagnétisme ou à des rayons radiants puissants
- À un endroit où il y a beaucoup de sable
- Au bord de la mer ou sur des sols sableux, où aux endroits où des nuages de poussière sont fréquents, protégez l'appareil du sable ou de la poussière. Cet accessoire risquerait de tomber en panne.

Précautions d'emploi

- Insérez bien comme il faut la batterie dans cet accessoire avant de la charger.

N'exposez pas cet accessoire et ne le soumettez pas à des chocs mécaniques.

- Gardez cet accessoire à l'écart des téléviseurs ou récepteurs AM. Placé près d'un téléviseur ou d'un poste de radio, cet accessoire peut causer du bruit.

- Veuillez à ne pas mettre d'objets métalliques au contact des pièces métalliques de cet accessoire. Ceci pourrait causer un court-circuit et endommager l'accessoire.

- La batterie rechargeable et cet accessoire peuvent devenir chauds pendant ou immédiatement après la charge.

Entretien

- Lorsque cet accessoire est sale, essayez-le avec un chiffon sec et doux.
- Lorsque cet accessoire est très sale, essayez-le avec un chiffon et un peu de solvant neutre puis séchez-le.
- N'utilisez pas de diluants, benzine, alcool, etc. car ils endommageraient la surface de cet accessoire.
- Si vous utilisez un tissu de nettoyage chimique, consultez son mode d'emploi.
- L'emploi d'un solvant volatil, comme un insecticide, ou la mise en contact direct de cet accessoire avec un produit en caoutchouc ou en plastique pendant une longue période peut détériorer ou endommager cet accessoire.

Pour charger la batterie

Veuillez à fixer la batterie sur le chargeur avant de raccorder un câble micro-USB.

1 Fixez la batterie au chargeur.

Faites glisser le couvercle supérieur du chargeur pour ouvrir. Alignez le repère ▼ de la batterie dans la direction du repère ▼ du chargeur et insérez la batterie dans le chargeur de sorte qu'elle s'encliquette.

Faites glisser le couvercle supérieur du chargeur dans le sens inverse pour le fermer. (Voir l'illustration **A**)

2 Raccordez un câble micro-USB (fourni) à cet accessoire, puis au périphérique de charge USB (PC, chargeur CA USB). (Voir l'illustration **E**)

Le témoin CHARGE (orange) s'allume et la charge commence. Lorsque le témoin CHARGE s'éteint, la charge est terminée.

Pour retirer la batterie

Débranchez le câble micro-USB de cet accessoire et faites glisser le couvercle supérieur du chargeur pour ouvrir. Poussez légèrement la batterie dans la direction de son repère ▼, soulevez l'extrémité de la batterie pour la libérer de la fixation du chargeur, puis faites glisser la batterie pour la retirer du chargeur. Faites glisser le couvercle supérieur du chargeur dans le sens inverse pour le fermer.

Conseil

Le chargeur CC de voyage (BC-DCX) peut aussi faire office de boîtier lors du transport de la batterie.

Temps de charge

Batterie rechargeable	NP-BX1
Temps de charge complète (environ)	155 min (Avec IAC-UD10, IAC-UD11) 230 min (Avec un PC, IAC-UB10)

- Pour plus d'informations sur l'autonomie de la batterie, reportez-vous au mode d'emploi de votre appareil photo.
- Le temps de charge peut être différent selon l'état de la batterie ou la température ambiante.
- Les temps indiqués correspondent à la charge d'une batterie vide, usée sur un appareil photo, avec cet accessoire à une température ambiante de 25 °C (77 °F).

Température de charge	
La température doit se situer entre 0 °C et 40 °C (32 °F et 104 °F) pour la charge.	
Pour une efficacité maximale de la batterie, la température conseillée pour la charge est de 10 °C à 30 °C (50 °F à 86 °F).	

Pour utiliser rapidement la batterie

Vous pouvez retirer la batterie de cet accessoire et l'utiliser même si la charge n'est pas terminée. Cependant, le temps de charge a une influence sur l'autonomie de la batterie.

Remarques

- Si le témoin CHARGE ne s'allume pas, vérifiez si la batterie est bien insérée dans cet accessoire, puis débranchez et rebranchez le câble micro-USB.
- Lorsqu'une batterie chargée est installée, le témoin CHARGE s'allume une fois puis s'éteint.
- Une batterie qui n'a pas été utilisée pendant longtemps peut être plus longue à charger que la normale.
- La batterie chargée se décharge graduellement même si elle n'est pas utilisée. Chargez la batterie rechargeable pour éviter de manquer des occasions d'enregistrer.

En cas de problème

Le témoin CHARGE (orange) ne s'allume pas.

- La batterie est complètement chargée.
- Vérifiez qu'un câble micro-USB (fourni) est fermement raccorder à cet accessoire et au périphérique de charge USB.
- Raccordez cet accessoire directement au PC, pas par un hub USB, etc.
- Si la température de la pièce est hors de la plage de températures appropriée, la charge s'arrêtera automatiquement. Lorsque la température de la pièce revient à la plage appropriée, le témoin CHARGE s'allume et la charge redémarre. Il est conseillé de charger la batterie rechargeable entre 10 °C et 30 °C (50 °F et 86 °C).

Spécifications

Puissance nominale d'entrée	CC 5 V
Puissance nominale de sortie	Borne de charge de la batterie : CC 4,2 V 0,86 A
Température de fonctionnement	0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température d'entreposage	-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)
Dimensions (Environ)	36 mm × 70 mm × 13,5 mm (l/h/p)
	(1 7/16 po. × 2 7/8 po. × 9/16 po.)

Poids	Environ 17 g (0,6 oz)
-------	-----------------------

DCC-UD10

Avant d'utiliser cet accessoire, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour toute référence future.

En raccordant cet adaptateur pour batterie de voiture DCC-UD10 au chargeur de batterie (Chargeur CC de voyage BC-DCX) avec le câble micro-USB fourni, vous pouvez charger une batterie par la prise allume-cigare.

En raccordant cet adaptateur pour batterie de voiture DCC-UD10 à un appareil photo numérique compatible avec le câble micro-USB fourni, vous pouvez prendre des photos avec votre appareil photo alimenté par la prise allume-cigare.

Pour réduire le risque d'incendie, n'obstruez pas la ventilation de l'appareil avec des journaux, nappes, rideaux, etc. Ne posez pas non plus de bougies allumées sur l'appareil. Pour réduire le risque d'incendie ou de décharge électrique, ne posez pas d'objets remplis de liquide, comme des vases, sur l'appareil. Pour éviter toute décharge électrique n'ouvrez pas le boîtier. Confiez toute réparation à un personnel qualifié seulement.

Précautions

Sécurité

- L'emploi d'un fusible ayant un nombre d'ampères supérieur peut causer des dommages ou un incendie.
- N'utilisez pas un morceau de fil à la place du fusible.
- Si le fusible saute à nouveau, consultez votre vendeur.

Installation

Ne posez pas l'adaptateur pour batterie de voiture à un des endroits suivants :

- Endroit exposé à une température extrême.
- (ex. dans une voiture toutes vitres closes)
- Endroit exposé à la lumière directe du soleil ou près d'une source de chaleur.
- Endroit exposé à des vibrations ou chocs mécaniques.
- Endroit exposé à une poussière excessive.

Fonctionnement

- Vérifiez que la prise correspond au courant et à la tension du chargeur de batterie ou de l'appareil photo qui doit être raccorde à l'adaptateur pour batterie de voiture.
- Par mesure de sécurité cet accessoire s'arrête automatiquement si le courant d'entrée est trop élevé.
- Pour éviter tout dommage, veuillez à ne pas laisser tomber cet accessoire et à ne pas l'exposer à un choc mécanique.
- Après utilisation, débranchez cet accessoire de la prise allume-cigare et de l'appareil.
- Débranchez cet accessoire de la prise allume-cigare en saisissant son boîtier. Ne tirez pas sur le cordon raccordé à cet accessoire.
- Pour éviter les courts-circuits, ne touchez pas d'objets métallique avec les bornes ou le connecteur de ce accessoire.
- Notez que les données enregistrées dans l'appareil photo numérique raccordé à cet accessoire peuvent être perdues ou altérées si le moteur est démarré ou arrêté quand cet accessoire est inséré dans la prise allume-cigare.

Nettoyage

- Nettoyez cet accessoire avec un chiffon doux et sec. Si cet accessoire est très sale, essayez-le avec un chiffon doux imprégné légèrement d'une solution détergente neutre puis séchez-le avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez pas de solvants comme falcool, les diluants ou la benzine, etc. car ils endommageraient la surface de cet accessoire.
- Pour éviter les courts-circuits, ne touchez pas d'objets métalliques avec les bornes ou le connecteur de ce accessoire.
- Si un solvant volatil, par exemple un insecticide, est dispersé sur le boîtier de cet accessoire ou si le boîtier de cet accessoire reste longtemps au contact d'un produit en caoutchouc ou en plastique, la surface du boîtier peut être endommagée.

Emploi

Veuillez à charger l'appareil quand la voiture est en marche. Si cet accessoire reste branché sur la prise allume-cigare quand le moteur est à l'arrêt, il consommerá de l'énergie de la batterie de la voiture.

Remarques

- Assurez-vous que l'adaptateur pour batterie de voiture est installé de sorte qu'il ne gêne pas le fonctionnement de l'accélérateur ou du levier de vitesses.
- Ne raccordez jamais cet accessoire et n'effectuez jamais de charge pendant la conduite.

Charge de la batterie (Voir l'illustration **C**)

1 Insérez l'adaptateur pour batterie de voiture dans la prise allume-cigare.

Le témoin POWER s'allume en vert.

2 Raccordez l'adaptateur pour batterie de voiture au chargeur de batterie avec le câble micro-USB fourni avec cet accessoire.

Le témoin POWER s'allume en vert.

2 Raccordez l'adaptateur pour batterie de voiture à l'appareil photo numérique avec le câble micro-USB fourni avec cet accessoire.

Le témoin POWER s'allume en vert.

3 Réglez l'appareil photo numérique pour le recharger.

Reportez-vous au mode d'emploi de votre appareil photo numérique pour les détails. Certains modèles n'ont pas besoin d'être réglés pour être rechargés.

- Votre appareil photo numérique peut être différent de celui qui est illustré dans ce mode d'emploi.

Lorsque l'adaptateur pour batterie de voiture n'est pas utilisé

Pour éviter de trop solliciter la batterie de la voiture, débranchez cet accessoire de la prise allume-cigare quand vous ne l'utilisez pas.

Lorsque le moteur de la voiture est arrêté
Débranchez cet accessoire de la prise allume-cigare quand le moteur de la voiture est à l'arrêt. Selon le type de voiture, l'alimentation peut ne pas être automatiquement coupée même lorsque le moteur est arrêté. Dans ce cas, la batterie peut être inutilement sollicitée.

Remarques

- Branchez à fond la fiche dans la prise allume-cigare.
- Selon l'emplacement ou la forme de l'allume-cigare, il peut être impossible d'insérer cet accessoire.
- Fixez bien le chargeur de batterie ou l'appareil photo numérique raccordé de sorte qu'il ne risque pas de bouger en cas de freinage brusque.
- Veuillez à disposer le câble micro-USB de sorte qu'il ne gêne pas la conduite, le mouvements des passagers, ou ne soit pas endommagé par les ajustements des sièges, etc.
- Ne tordez et ne tirez pas le câble micro-USB raccordé à cet accessoire. Ceci peut causer un dysfonctionnement ou les fils pourraient être coupés.
- Afin d'éviter tout risque d'incendie ou de décharge électrique, n'utilisez pas le chargeur de batterie ou l'appareil photo numérique à un endroit exposé à des liquides ou à l'humidité.
- Il n'est pas garanti que cet accessoire fonctionne avec un hub USB ou un cordon-rallonge USB. Raccordez cet accessoire de la façon indiquée par le chargeur de batterie ou l'appareil photo numérique.
- Cet accessoire peut chauffer quand il est utilisé. C'est normal.

Remplacement du fusible (Voir l'illustration **B**)

Si cet accessoire ne fonctionne pas correctement, vérifiez le fusible dans l'adaptateur pour batterie de voiture.

Si le fusible a sauté, remplacez-le.

1 Débranchez cet accessoire de la prise allume-cigare.

2 Détachez l'extrémité de la fiche en la tournant dans le sens antihoraire.

3 Sortez le fusible.

4 Vérifiez le fusible.

Si le fusible a sauté, passez au point 5.

Si le fusible n'a pas sauté, passez au point 6.

5 Installez un nouveau fusible.

Utilisez un fusible ayant le nombre d'ampères indiqué dans le logement de fusible de cet accessoire (1 A, 125 V, 20 mm).

6 Insérez le fusible.

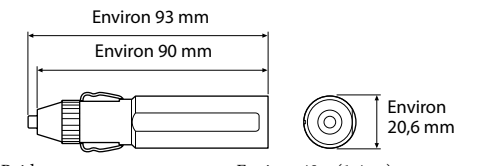
7 Remettez l'extrémité de la fiche en la vissant à fond dans le sens horaire.

Remarques

- L'emploi d'un fusible ayant un nombre d'ampères supérieur peut causer des dommages ou un incendie.
- N'utilisez pas un morceau de fil à la place du fusible.
- Si le fusible saute à nouveau, consultez votre vendeur.

Spécifications

Tension d'entrée	CC 12 V/24 V (seulement pour les voitures à masse négative ⚡)
Tension de sortie nominale	CC 5,0 V
Courant de sortie nominal	1 500 mA
Dimensions	



La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

中文 (簡)

ACC-DCBX 随带有下列附件：
ACC-DCBX

- 可重复充电电池 (NP-BX1) (1)
- 旅行直流充电器 (BC-DCX) (1)
- 车用电池转接器 (DCC-UD10) (1)
- Micro USB 连接线 (1)

成套印刷文件

警告

为减少发生火灾或触电的危险：

- 请勿让本装置淋雨或受潮。
- 请勿在本装置上放置如花瓶等盛有液体的物体。切勿将电池暴露在阳光、火或类似的极热环境下。为避免造成环境污染，请将废弃产品按照当地法规进行处理。

为减少发生火灾的危险，请勿让报纸、桌布、窗帘等挡住本装置的通风口。同时，请勿将点燃的蜡烛放在本装置上。

为减少火灾或触电的危险，请勿在本装置上放置如花瓶等盛有液体的物体。为避免遭受电击，请勿打开外壳。有关维修事宜，请务必向合格的技术人员咨询。

本产品经测试符合EMC规章有关使用米以下连接电缆的限制规定。

NP-BX1

规格

最大输出电压： DC 4.2 V / 标称输出电压： DC 3.6 V / 电容量： 4.5 Wh (1240 mAh) / 操作温度： 0 °C - 40 °C / 尺寸 (约) : 29.9 mm × 9.2 mm × 42.7 mm (宽/高/长) / 质量： 约 25 g

BC-DCX

感谢您购买 Sony 充电器。

Fixez l'appareil photo numérique raccordé à la monture de voiture et posez-le en lieu sûr.

操作本充电器之前，请全文阅读本说明书并加以妥善保存，以备将来参考。

使用须知

本装置不具备防尘、防溅湿或防水功能。

有关拍摄内容的担保

如果因电池、充电器等的故障而导致无法拍摄或播放，恕不对拍摄内容做任何补偿。

禁放本装置的场所

请勿在以下场所中使用或存放本装置。否则可能会引起故障。

- 有阳光直射或靠近加热设备的地方，否则可能导致本装置发生故障或变形
- 有强烈震动的地方
- 有强电磁或强辐射线的地方
- 沙尘过多的地方
- 在海边和其他多沙区域或出现尘雾的地方，应对本装置采取防尘措施，否则会出现故障的危险。

使用前须知

- 为电池充电时，应将电池牢牢安装到本装置中。
- 请勿跌落装置或对其进行机械性碰撞。
- 请将装置远离电视机或调幅收音机放置。
- 如果靠得太近，本装置产生的噪音可能会干扰电视机或收音机。
- 确保不会有任何金属物体接触到本装置的金屬部分。否则可能发生短路且本装置可能受损。
- 充电期间或充电刚结束时，电池及本装置都会变热。

保养

- 如果本装置被弄脏，请使用软的干布进行擦拭。

如果本装置太脏，请先用布蘸一点中性溶剂进行擦拭，然后再将其擦干。

- 请勿使用稀释剂、汽油、酒精等制品，因为它们会损坏本装置表面。
- 使用化学清洁剂时，请参阅其使用说明书。
- 若使用挥发性溶剂（如杀虫剂）或使本装置长时间接触橡胶或乙烯制品，可能会损坏本装置或导致其品质降低。

为电池充电

连接 micro USB 连接线前，请确保将电池安装到充电器中。

1 将电池安装到充电器中。

滑动充电器顶盖将其打开。在确保电池标记 ▼ 与充电器